



明るく たくましい 明世の子

ビカリア

令和5年度
瑞浪市立明世小学校
NO. 10
R5. 12. 26

続ける力



毎朝、2年生児童が、花壇の花に水やりをしています。11月に、コミスクの活動として、まちづくりや長寿会の方たちと児童と一緒に植えた花です。2年生の「花を大切にしたい」「水をやりたい」という思いが続いているのは、きっと、自分が植えたという経験があるからだと考えます。

水をやるという行為を続けてほしいのはもちろんですが、花を植える、町をきれいにする、子どもが地域と一緒に行動する、ということ自体も続けていきたいことです。自分たちの住む町を、自分たちできれいにする、ということを実践しながら、次の子どもにつなげていくという事で、この町が守られていくと考えるからです。

さて、年末年始は、私たちがずっと大切にしてきたことを受け継ぐチャンスであると考えます。大掃除をするのはなぜ？門松を飾るのはなぜ？福笑いをするのはなぜ？凧あげやコマにはどんな意味があるの？

年末にケーキを食べ、もみの木を飾ることも楽しんでよいと思います。でも、同じように、おもちゃも準備してほしいですし、門松や正月の花を飾ってほしいと考えています。

新しい年を迎えるための掃除、年神様が入ってくる門。お供え物、福をよぶための遊び。日本の伝統には、昔の人の知恵や願いがあります。この地域の文化、各家庭の文化を、子どもたちに話したり体験させたりして、そのよさや楽しさを味わわせてほしいです。

これからの子どもたちは、県外の方や外国の方との交流も増えると思います。他の地域の文化に興味をもって話を聞き、自分の地域の文化を語れる子、日本の文化を語れる子は、自信をもっている人とかかわれるのではないのでしょうか。

ここで、我が家の年末年始を紹介します。皆様の家の文化と同じところ、違うところを子どもたちと話してみてください。

年末は大掃除、餅つき（もち米を蒸して臼と杵でつく 鏡餅や豆餅など）、門松づくり（50年前は松とソヨゴでしたが、今は竹も使う。本数や縄を巻く数を3・5・7の素数にする）、おせち（それぞれの具材に意味がある）の準備。鏡餅を設置。なぜか、大晦日はすき焼き。

お正月は、若水をくんでお茶を入れ、豆や栗や田作りや干し柿等を食べる（それぞれに健康、収穫の願いなどの意味がある）。初詣に行く。おせち料理、雑煮（焼かない餅入り）を食べる。親類が集まると、先祖に挨拶をして、百人一首かるたをして、お年玉もらって…、と進みます。

二日は、自然薯のとろろ、書き初め、年始の挨拶まわり、などを行います。

今、子どもたちは、百人一首を覚えています。一枚でも、自信をもってとれるようになっておくと、3学期学校に来ることが楽しみになると思います。2学期も学校と子どもを支えて下さりありがとうございました。よいお年をお迎えください。